



1村1自然エネルギー プロジェクト

平成 25 年 3 月 8 日



団体名 野沢温泉村

氏名 野沢温泉村長 富井 俊雄

野沢温泉村は、信州の自然エネルギー資源を活かした「1村1自然エネルギープロジェクト」を以下のとおり推進しています。

区 分	摘 要			
取組の名称	野沢温泉アリーナ「雪室」雪氷熱利用プロジェクト			
取組の主体	野沢温泉村			
取組の構成団体名 (複数の者で構成する場合)	野沢温泉村（連係する団体：野沢温泉観光協会、(株)野沢温泉、地元地縁団体）			
普及する自然 エネルギーの種別等	雪氷熱			
取組の目的	地域資源の活用と付加価値化及び防災対策			
地域関係者との協働 の内容	冷熱・観光資源としての活用と模索。			
プロジェクトの部門	①地域づくり、②ソーシャルビジネス、③開発研究、④その他 (場作りなど)			
取組(事業)の段階	①構想段階 ②実施段階 ③発展段階			
取組の概要	雪室に貯蔵した雪によるアリーナ施設の冷房と併設する雪冷蔵倉庫に伝統野菜の野沢菜や米、日本酒などを保管・低温熟成による高付加価値化により、あらたな地域ブランドの創出を図る。			
事務局担当者の 連絡先	担当者所属	総務課	氏名	岸 栄
	TEL	0269-85-3111	email	kikaku@vill.nozawaonsen.nagano.jp
備 考				

注) 変更登録申請を行う場合は、変更箇所の下線を引いてください。



区 分	内 容
取組の内容	<p>当プロジェクトはグリーンニューディール基金を活用して取組みを行っている事業である。</p> <p>このプロジェクトの目的は前述のとおり「地域資源の活用と付加価値化及び防災対策」であるが、その基本コンセプトは下記のとおりである。</p> <p>1 冷熱資源</p> <p>①雪冷房に利用・・・新たな居住空間の整備（雪冷房住宅、雪冷房博物館など）</p> <p>②雪冷蔵に利用・・・新たな農業の展開（農産物等の低温貯蔵、低温熟成など）</p> <p>2 観光資源</p> <p>①その場で利用・・・野沢温泉アリーナでのイベントでの活用</p> <p>②運んで利用・・・観光宣伝イベント会場へ輸送し活用（雪灯籠、滑り台など）</p> <p>3 産業資源</p> <p>①産業に利用・・・新たな産業への応用（雪だるまのお中元など）</p> <p>4 環境教育</p> <p>①教育に利用・・・環境学習の推進（雪を教材として活用）</p> <p>今後この事業をとおして、住民へ省エネルギー・自然エネルギーへの啓蒙啓発にちからを入れていき、厄介ものであった「雪」をあらためて「地域の宝」として認識していただき、地域発展に寄与する。</p>
取組を行うコミュニティの区域	野沢温泉村全域
構成員の役割	事業主体：野沢温泉村、観光面：野沢温泉観光協会、防災面：地元地縁団体、施設監理等：(株)野沢温泉
現に活動しているかの有無	有
活動の成果等の帰属	野沢温泉村 村民
普及推進体制	役場内の関係部局で庁内委員会を組織し、外部連携組織の協力のもと推進活動を展開していく。
取組の有効性	平成23年度に策定した地域新エネルギービジョンで実施した、村民へのアンケート調査でも雪氷熱利用の期待度は高く、その賦存量も多い。積雪地特有の財産であるため、その発展性については限定的なものではあるが、効果の高い事業であると

	いえる。
継続性及び発展性	このプロジェクトは村が事業主体として行っているが、今後は民間レベルでの導入を推進してくとともに、先に基本コンセプトとして掲げたとおり、今後の展開として単に冷熱エネルギーだけの活用に留まらず、観光資源やそれ以外の産業への応用、環境教育としての活用を図りながら、今後の利用方法について模索していく。
関係法令の手続き状況	—
団体設立年月日	—
ホームページ	http://www.vill.nozawaonsen.nagano.jp/ （野沢温泉村HP）
備考	

添付書類 ①組織の規約（市町村の場合は不要）、②プロジェクトの概要書（別紙）、③構成員名簿、④取組の内容の分かる資料（写真等）

注）変更登録申請を行う場合は、変更箇所を下線を引いてください。

